


No・オプション名	9) 除雪幅可変プラウ
使用機械	除雪トラック
使用工法	新雪除雪
使用場所	道路(国道、高規格幹線道、高速道)
使用法	<p>暫定車線、登坂車線、トンネルやバスベイなどの車線数の変更などに対して、作業走行しながら運転席でレバースイッチを操作し、油圧シリンダを伸縮させてプラウをスライドし、除雪幅を可変して作業を行う。</p> <p>取り付け 通常のプラウの懸架装置を使用し、ワンウェイプラウの代わりに取り付ける。</p>
機能構造	<p>除雪幅可変プラウ機能について図・写真欄の図を参照して説明する。 プッシュフレーム部に装着されるプラウスライドシリンダの伸縮により、プラウ左(又は左右を)をレールをガイドにしてスライドし、除雪幅を可変可能な構造のワンウェイプラウ。 プラウのスライド作動は運転席でレバースイッチを操作し、電磁弁を切り替えて油圧シリンダを作動させて行う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p>写真 除雪幅可変プラウ(格納姿勢) 写真 除雪幅可変プラウ(作業姿勢)</p> <p>例えば、除雪幅は縮小時2.9 mであるが、最大限伸ばすと拡大時4.2 mとなる。</p>
特徴	暫定車線、登坂車線、トンネルやバスベイなどの車線変化に対応でき、回送幅を狭小化できる。
留意事項	伸縮時の負荷変動や車速と伸縮操作のタイミングなどに注意を要する。後続車両などへの注意が必要。

図・写真

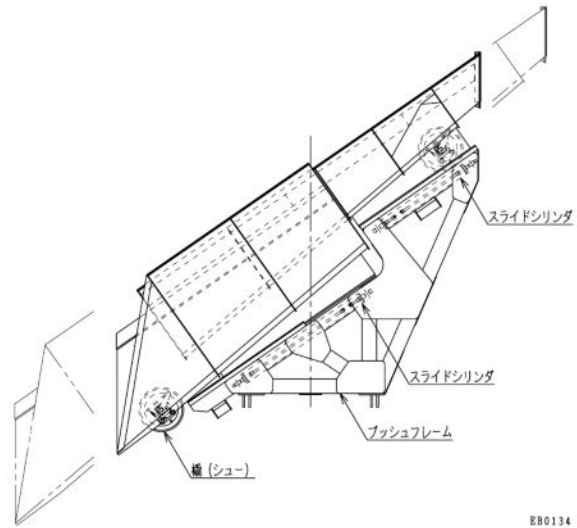


図 除雪幅可変プラウ外観

備考